



火の柱

Friends of Jesus 2023.6 第 735 号

イエスの友五綱領

- ①イエスにありて敬虔なること
- ②貧しき者の友となりて労働を愛すること
- ③世界平和のため努力すること
- ④純潔なる生活を尊ぶこと
- ⑤社会奉仕を旨とすること

イエスの友会は、上の五綱領を、生き方の基盤としているキリスト者と賛同者の群れです。(結成1921年10月5日)

テーマ「社会とのかかわり」1P「社会奉仕を旨とするイエスの友」鈴木武仁 2P「全国自然栽培愛農塾」東海林昭雄、「私の生きる世界」太田敬雄 3P「大言壮語する者 正義とは」長谷川勝義 「夏期聖修会プログラム等」高島史弘 4P 「会計報告」 「各支部等の活動」

社会奉仕を旨とする

イエスの友

イエスの友会会長 鈴木武仁



この三年間、コロナ感染の話で巷間は満ちていたが賀川豊彦も信仰心には強い感染力があった。賀川もまた神戸のスラム

に入って貧しき人びとへの救済に尽くしたがトラコームという眼病に感染し自らの健康を犠牲にしつつ、社会の中でキリスト者として奉仕して生き、神と人に仕え全世界に福音を伝える祈りをした。何ができるかできないかではなく、何をすべきかを絶えずめざし、力の限り貧しい人々と共に一生過ごす決意をした。それはイエスの十字架の死に従う決意をもった生きたのであろう。

こう決意するや一九二〇年(大正九年)小説『死線を越えて』が出版されて、瞬く間に版を重ねて一五〇万部を売り上げ名声と富が与えられ、賀川には社会奉仕のための資金が与えられ、労働運動や協同組合運動に専念することができた。この不思議な奇蹟的な神の業を感嘆するほかない。一九二二年(大正十年)の川崎三菱労働争議での敗北をもって賀川は労働運動から精神的運動へと転換し、この流れて同年一〇月、イエスの友会を設立した。その動機は既成の教会への不満にあり、真の教会の設立を願い、キリスト教の壁を打ち破り、超教派団体として、労働と

奉仕をもって仕える平信徒による伝道集団をこの日本社会に結成しようと考えたことにある。その核心的精神は、敬虔、労働、平和、純潔、奉仕の五つだった。

一九二三年(大正十二年)八月二五日から五日間、静岡県の御殿場東山荘で第一回修養会が開かれ四七名が参加した。その内二七名が男性、二〇名が女性(学生が大半)で、今年二〇二三年は一〇〇年目である。プログラムは講義と祈りで、賀川は「使徒ヨハネの宗教的経験」、「ヨブ記」、「聖書社会学」、「生存競争の研究」について講義し、他の講師は聖書の話しを实际的な社会活動と結び付けようとする話をした。「教会とその事業のため」「職業婦人のため」「労働組合のため」と具体的な課題を挙げて祈り、問題解決のために向けて社会奉仕を旨とすることが奨励されたのである。

ところが一九二三年(大正十二年)九月一日(土)、修養会が終わって三日目、午前一時五八分、震源地を相模湾北西部にし、マグニチュード七・九というとてもない「関東大震災」と呼ばれる大地震が発生した。家屋全壊二二万八〇〇〇戸、半壊二二万六〇〇〇戸、焼失四万七〇〇〇戸、死者の総数一四万三〇〇〇人、負傷者一〇万三〇〇〇名という被害の実態である。この時三五歳であった賀川豊彦はこの被災に苦しむ一般大衆、無産者、貧困者のために「よきサマリヤ人」の如く、祈り、傍らに走り寄り三日に神戸から横浜に向かって山城丸で出発した。まず実態を確かめねばならぬ。神田YMCAを訪ね修養会の講師の一人で主事の石田友治と会い救援活動の支援を要請し、六日、神戸に船と汽車を乗り継いで戻った。

再び賀川は一〇月、救援物資を長崎丸に積み、薄葉信吾、深田種嗣、木立義道の神戸イエスの友の三人の青年を伴い旅立った。被災地の中でも被害の最も深刻であった東京・本所に拠点を置き、『死線を越えて』の印税で得た巨費を投じて被災者救援活動を展開し、セツルメントを設けた。

薄葉信吾という青年は悩みの種であった。彼は十字架否定論者で、被災救援活動の主体はキリスト者集団であり、キリスト教活動であったのだからそんな人が「悩みの種」であった。彼は、間もなく去って行き、新潟で新聞記者として働いたと伝えられているが真偽ほどはわからない。いづれにしてもイエスの友会にて活動した人の中には、賀川の思想に共鳴して従ってきた人もおり、キリスト者という厳密な線を引いてはいなかった。ただ「イエスにありて敬虔なること」に同意する人は入会できた。それを許した賀川豊彦の寛大さを知るものであるが、これに疑問を持つ人もいるに違いない。賀川豊彦はこの関東大震災を機に、活動拠点を神戸から東京に移され新たな展開にもなった。

最後に、この関東大震災の背後に在日朝鮮・韓国人の虐殺、アナキスト大杉栄虐殺があったことを思い出す。朝鮮人來襲というデマのために罪のない韓国朝鮮人が民衆によつて虐殺された悲劇である。大杉栄、伊藤野枝、六歳の甥の橋宗一の三名も趣町憲兵隊において惨殺された。賀川は大杉とは顔見知りだった。三歳年上の大杉は、本郷教会で海老名正牧師から受洗していたが、幸徳秋水、堺利彦の非戦論に共鳴し、社会主義者となつて行つ

た。大正デモクラシーに生きた大杉栄も賀川豊彦も同じ時代の流れを生きたの理想的社会を目指し、相互共感していた人間解放主義者として社会に仕えたが、教会の枠を超えて命を賭けたのは、真の教会を求めた二人であつたからではなからうか。

全国自然栽培愛農塾

書記 東海林昭雄

群馬県榛東村に「全国自然栽培愛農塾」のオープンのために準備がなされています。

塾長は染谷武男さん（86歳）、無農薬無肥料のオーガニクスの野菜の栽培を指しています。染谷さんの持論は、争いの原因は食糧問題にある。世界から飢餓が無くなれば世界平和が実現する点にあります。荒唐無稽の考えのように見えるかもしれませんが、大河の源流は一滴から始まります。そのような想いが叶うようお祈りしたいと思っています。

原型のモデルは「農民福音学校」です。かつて賀川豊彦が同校の働きとして全国約二万か所で開校したことがありました。聖書を学び、農業や酪農の技術を学ぶ場として用いられ、貧困との闘いの中、農民組合が一致団結して生まれた実として、雪印メグミルクや高崎ハムなどがあります。

オーガニクスの野菜の栽培と言ってもそう簡単なことではありません。染谷さんが感化を受けている人物に青森県のリンゴ農家の木村秋則という方がいます。木村さんを紹介している著『木村さんのリンゴ 奇跡の秘密』（幻冬舎文庫）のサ

ブタイトルを見ると、「植物と話し、宇宙人と語る不思議な男の物語」とあります。何かの宗教に属してはいないようですが、大変信仰的なものを感じました。

最近のリンゴは品種改良もあり年々美味しくなっていますが、免疫がその分落ちてしまい、その農薬をたくさん使用し、結果被害のため健康を害する農民も多いようです。無農薬でリンゴを栽培するなご愚の骨頂と周りの人々から馬鹿にされる中、取り組んで実を得たのは十一年後であつたそうです。収入は無く貧乏のどん底、雪の積もった冬場リンゴ園に行く人などいない中、彼は出かけてリンゴの木一本一本に対して「ありがと」と声をかけ続けたそうです。そして彼が行ったことは自然を観察することだったそうです。アブラムシの天敵はテントウムシであることは知られていることですが、実際それほどの働きはしておらず、意外にも害虫の象徴とも言えるハエが虫を退治してくれることを発見したそうです。害虫とみられていたものが、実は益虫であつたわけです。すなわち神が創造された自然にはバランスがあることを知ったのです。山も草花や木は農薬も肥料もいらずにすくすくと育っています。すなわち自然には全ての必要が満たされています。そのような農業に取り組もうとしています。特に心病める方々の癒しの場としても用いられればと願っています。そのためカフェも作ろうかとの構想も出ております。御加勢ください。

（群馬県北群馬郡榛東村大字広場2410・1, 電話0279・26・8391）

私の生きる世界

国際比較文化研究所所長 太田敬雄



人は生まれ育つた時代の中で子育てする親の社会認識に育まれ、自分自身の社会認識が育ち、己の社会との関わり方が育つていくのでしよう。当然

それは地域により、時代によって異なるものとなっていくわけです。私の場合は親が教師であつたため、子供のころから私の世界は学校でした。大学卒業後も直ちに教師として採用され、何度かの転職は有りましたが、学校の教師という職業から離れることは無く、六十歳近くになるまで、学校以外の世界を知らずに過ごしたわけです。

学校を辞してNPO活動を立ち上げ、初めて学校ではない社会との関わりを意識するようになったわけですが、私の生きる世界は狭いものでした。イエスの友会の五か条の実践綱領の内、最初の四つはすんなりと私に入ってきました。中でも「貧しき者の友となりて労働を愛すること」は高校時代に受けた「労作教育」のお蔭で大変身近でした。また、英語の教師として過ごしてきましたので「世界平和のために努力すること」も己に課された使命と教師時代から感じていました。

しかし私の知る「社会が狭すぎたため」に「社会奉仕を旨とすること」は大変わかりにくいものでした。「社会奉仕」に尽く

された賀川先生には憧れましたが、私が生きる世界からは余りにも遠い世界で、他の綱領ほど身近に感じませんでした。さらに、「奉仕」という表現も私には違和感がありました。私は「奉仕」という言葉に上から見下す視線を感じてしまうのです。二十年以上無給でNPO活動を推進してきた中で、私自身も窮乏している一人として、今では「共に生きる」ことこそが百年前に賀川先生が提唱された「奉仕」なのだと考えています。

交通網、通信網の急速な発展で、私達の「住む世界」は地球全体と広がりました。その世界には色々な民族、文化、価値観、宗教、政治体制などがあります。そこで重要なポイントは何が正しいかを主張しないことなのだと私は確信しています。己が大事にすることを主張するのではなく、他者が大事にすることを自分も大事にさせて頂くことから始めないと地球社会は崩壊してしまいます。

国際比較文化研究所を発足させて二十一年、「多文化交流」活動を継続していますが、そこでは議論や講義ではなく、寝食を共にしながらひたすら楽しく遊ぶことをしています。その活動の中で背景の異なる者同士が「友となる」。そして、その友達のネットワークで地球を覆う。それ以外に平和な地球社会を構築する。それが私に与えられた使命です。

私は独自のスタンスを気づき上げてきたと思っていました。気が付けばこれはイエスの友会の基本的なスタンスでした！「イエスの友会は超教派の団体で教職と信徒が互いに立場を尊重しながら、地域をこえてすすむ同志的交わりの団体です。」（石田正弘元委員長）イエスの友会

に倣い、これからも「超宗教・超文化」で友の交わりを広げていきたい。それが今の私の生きる世界です。

大言壮語する者 正義とは

副会長 長谷川勝義



正義とは何かというものである。

正義というものがあるか、正義とはどういうものか。正義の定義は何か。

正義は時代によって違うものかどうか。このように正義というものは、いろいろ問題をはらんだ言葉だ。しかし、わたしは、正義というのは、非常に大切な概念であり、最も大切な倫理であると思っている。

とくに、キリスト教では、正義は大事な概念で、キリスト教の根本にもなっている大切な教えの一つだ。キリスト教の神は、正義を大切にする。正義に反するものは、厳しく罰する神として、旧約の時代から、描かれている。正義に対する言葉は、悪であり不正ということである。悪を憎み、正義を愛するというのがキリスト教の神である。キリスト教の神は、ただ、無制限な愛を与える神ではない。仏教の仏さまと言うと、慈悲の心で、無制限な愛を人々に与えてどんな人でも救済するという考え方があがるが、キリスト教の神は、そこが少し違う。悪に対しては、それを看過しない神である。悪に対して罰する神である。それゆえ、特に旧約聖書の時代の神は、恐ろしい神、厳しい神として語られている。イスラエルの民に律法を与え、それ

を守るならば、人々は祝福され、幸せな生活を保障されるが、律法に背けば、厳しい裁きが与えられるという教えだった。

このように旧約の神は、律法に基づく厳しい神であったが、そこにキリストが登場し、神の救いは、形式的に律法を守ることではなく、心の中に神の教えに生かされて、自由な心で神の教えに喜んで従うという、キリストを模範とした生き方によって、救いに至るという教えだ。

さて、正義の概念は、何かということである。キリスト教の正義は、旧約聖書にもよく出てくるが、悪の道を離れて、正しい道を歩むことに他ならない。正しい道とは、貧しい人、弱った人、老人、障害者等を見捨てず、外国人、立場の弱い人をも差別しないで、公平な心で接するということである。それに対して、権力や金力に頼り、傲慢となり、ぜいたくにおぼれ、他人を顧みず、他国を侵略したり、立場の弱い者たちをけなしたり、誹謗したり、自分勝手な行いをするのが悪であり、正義に反するものだ。旧約も新約も教えている。こう考えると、正義とか悪とかの意味は、はっきりしてくる。欲望のままに、自己中心、大ぼらをふいたり、他を惑わしたり、偽りを言って自分の都合のいいように持つていくことが悪だということがよくわかる。それに対して、公平に物事を見、謙虚で慎み深く、悪に対しては、譲らず、正義のためには強く主張できるといのが本當の正義である。

こう考えると、現在の世界のことも、正義と悪の観点から、公平に見ていくことができる。今の世の中は、情報が多く、何が正義で何が悪かがわからないというが、そうではない。公平な目で見る力が大切

だ。神の正義に照らせば、どんな言動も正義が悪かは、判断できるはずである。ただ、現代では、フェイクニュースに惑わされて、おかしい人物でも同調して、従ってしまう人々も多い。大言壮語に惑わされてはならない。頑迷で保守的な信仰や宗教も絶対ではない。その人の言動を見て、その人が本當に正しいことをしているのか、間違ったことを行っていないかを判断しなければならぬ。特に、信仰者は、思い込みをしないように気を付けなければならない。

2023年度 第98回夏期聖修会 スケジュール (変更の可能性あり)



テーマ 綱領 『世界平和のために努力すること』
聖書…マタイ5…9平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。
日時…2023年7月24日(月) 12時～20時
(水) 26日

会場…YMC A 東山荘 〒412-0024 静岡県御殿場市東山1052
Tel 0550-83-1133



アクセス 鉄道利用 新幹線三島下車5分に乗り換え沼津駅、そこから御殿場線に乗り換え御殿場下車タクシーで5分 料金約千円余(乗合せが良い)

高速バス利用 JR新宿駅西口出口→高速バス小田急高速箱根バス新宿駅西口から箱根桃源台又は御殿場行き約90分東名御殿場下車→徒歩約20分またはタクシー約5分

7月24日(月) 第1日目

13:00 受付開始
受付…小野島みき子
14:00～15:00 開会礼拝
奨励…小野島正彰 司会…東海林昭雄
15:30～17:00 基調講演
『賀川イズムとアジアの償いの業』
講師…大野克美
18:30～19:30 夕食
・本日のみの参加者より一言
19:30～21:00 賛美と証のとき
池田宏里さんのギター演奏・証
ジーザスレインズジャパンのプレゼンテーション
7月25日(火) 第2日目

7:00～7:40 早天集会
「主の証人として」奨励…佃和男
司会…及川健治
8:00～9:00 朝食

参加者より一言

部屋の荷物の片づけ移動

10...00...12...00 講演

『聖書に立つ平和』講師・渡部信

12...15...13...00 昼食

各支部報告

13...30...15...00 「東南アジア文

化友好協会の働きについて」

講師 和気一樹

15...30...17...00 イエスの友会中

央委員会(大会) 司会・事務局

18...30...19...30 夕食

参加者より一言

19...30...20...30 賛美集会

司会・ソングリード 菅野直基

7月26日(水) 第3日目

7...00...7...40 早天集会

証・中満恵 司会・大野剛

8...00...9...00 朝食

参加者より一言

部屋の荷物の片づけ移動

10...00...11...20

ビジョンを語る会 司会・事務局

11...30...12...00 閉会礼拝

奨励・脇田眞一 司会・金子信一

12...15...13...00 昼食 片付け

13...30... オプション 路傍伝道

候補・御殿場駅 解散

参加費用 全日程参加者一人部屋では、

2万2千円です。

参加費 会員 全日3000円 1日

1000円

・宿泊費 一泊につき一人部屋6500

円、二人部屋5500円、6人部屋500

0円振込票に明記すること

・食費一食分 夕食2千円、昼食・朝食各

千円

・講演ZOOM参加1回千円 希望者は
高島までメール連絡ください。
・申込締切日 2023年7月9日(日)
申込みは同封振込用紙をもって行っ



会計報告

《二〇二三年三月以降二〇二三年五月迄の状況》

◎維持費(一万二千円)三名(長谷川衛、小野島正彰、柚浩二)

◎会費(三千円)十三名(永岡篤信、李善恵、夏目愛子、稲木聰子、長谷川衛、小野島正彰、小野島みき子、植西光男、田島章義、柚浩二、松原辰宣、仲里朝治、原 忠彦)

◎イースター献金四名(西内芳子、鈴木武仁、小野島正彰、梅村新)

◎購読料(千五百円)二名(平松英治、柚浩二)

◎登録料(五百円)三名(勢喜光、朴鴻源、柚浩二)

◎会費納入と献金のお願い

◆尊い献金と会費等でイエスの友会の活動をお支え下さり、イエス様にあつて感謝いたします。

▽たくさんの方から会費や献金をいただきました。感謝します。引き続き、各事業活動の費用のための会費や献金をお願いいたします。

会費、献金、維持費、購読料等の振込先は、次のとおりです。

▼郵便振替口座 「〇〇一七〇一七一九五八六」

加入者名「イエスの友会本部」

いつもご支援を心から感謝申し上げます(会計担当 小野島正彰)

会員報告 次号に掲載予定 支部活動報告

大阪支部 特になし

三河支部 毎月第一月曜日午後6時半から8時 例会 礼拝と食事交わり

今後の予定 6月25日(日) 当重西さん

を招いてチャペルコンサート 所 岡崎アッセンブリー神召教会 午前10時半から12時 歌と証し(連絡先 高島

090・9949・5190)

「火の柱」 第735号

発行人 鈴木武仁

発行所 イエスの友会本部

発行日 2023年6月25日

本部事務局

441-8016 愛知県豊橋市弥生町西豊和4

7 高島史弘(イエスの友会 事務局長)

携帯 060-69465160

メール takashima.m633@japan.email.ne.jp

郵便振込先 有名イエスの友会本部

口座番号 0017074069886

火の柱編集 長谷川勝義

火の柱原稿メール先 hupc58@xi.commu.jp

〒440-0026 愛知県豊橋市多米西町220

12 電話・FAX 05362611・4822

東京支部 特になし



浜松支部 長谷川保読書会 第一木曜日
午前9時半 所 静岡湖西市鷺津の信徒
山田宅
第二木曜日 浜松市細江 ウェスレア
ン・ホリネス遠州キリスト教会
(担当 及川 090-8107-5092)